

## 【総領事館からのお知らせ:安全対策情報:2月】

平成23年2月11日(総11第5号)  
在デンパサール日本国総領事館

### 1 治安情勢

- (1)バリ州警察本部によれば、バリ州では2010年の1年間に2,211件の交通事故が発生し、541名が死亡した。なお、2009年は1,973件の交通事故に対して、569名が死亡している。
- (2)ングラ・ライ国際空港税関事務所は、バンコクからタイ航空便で入国しようとしたタイ人女性が胃の中に麻薬を隠し持っていたことから同人の身柄を拘束した。(9日)
- (3)1月15日深夜、バドゥン県アビアンセマル地区のガソリン・スタンドが覆面の強盗団に襲われ、売上金3500万ルピアが盗まれた。
- (4)2月5日、パスティカ・バリ州知事は、バリ州の人口が過去3年間で30万人増え、もうすぐ400万人に達するが、バリ島の外から流入した住民は地域社会との結びつきが薄いために空き巣など犯罪の対象になりやすい旨注意を呼び掛けた。

### 2 一般情勢

- (1)バリ島南部地域の渋滞を解消するために、デワ・ルチ・ロータリー(シンパン・シウル)の地下道建設及びタンジュン・ベノアとスラガンを結ぶ高架道路建設が構想されているが、バリ州議会第3委員会は、土地収用等の問題があり、これらの道路建設は難しいとの見解を示した。これに対して、バリ州青年実業家協会は、バリ州政府及びバドゥン県政府が土地所有者と協議を続けており、実現の可能性は残っている旨明らかにした。
- (2)1月19日、ジュンブラ県前知事のウィナサ氏が廃棄物リサイクル装置購入に伴う収賄の疑いで逮捕された。
- (3)1月27日、ジャワ島のプロモ山の噴火に伴い、豪州、シンガポール、タイの航空会社はングラ・ライ国際空港での離発着を一時見合わせたが、ガルーダ航空は通常とおり運行させた。
- (4)2月9日、デンパサール市のエルウィン労働・移民局長は、市内で働く外国人労働者の状況を調査した後、違法な就労を行っている外国人は国外退去を命ずることもあり得る旨明らかにした。

### 3 邦人関連事件・事故

- (1)ヌサドゥアのスパにて、一度着席した邦人観光客は、従業員から数回にわたり座席を変えるように指示され、その隙に貴重品の入ったバッグを盗まれた。
- (2)インドネシア国内でインターネット販売を利用し代金を送金したが、商品は届かず販売先とも連絡が取れなくなった。

以上